

教科 地理歴史 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション						1
現代世界の系統地理学的考察 自然環境 【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と海岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形 2節 気候 1 気候の成り立ち 2 気候と生態系 3 世界の気候区分 4 ささまざまな気候帯 5 気候変動と異常気象 3節 日本の自然環境 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節 地球環境問題 1 地球環境問題とは 2 ささまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み ・教材：教科書 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1
現代世界の系統地理学的考察 資源と産業 【知識及び技能】 様々な産業とそれらの分布について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な産業の特徴や立地、それらの違いや変化について、自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な自然環境に対応した産業の工夫、技術の発展やグローバル化による産業の発展・変容について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 現代世界の農業の現状と課題 3 世界と日本の林業・水産業 2節 食料問題 1 世界と日本の食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用 4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題 5節 工業 1 工業の発達と種類・立地・工業地域 2 現代世界の工業の現状と課題 3 工業の知識産業化とスタートアップ企業 4 日本の工業 6節 第3次産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外のさまざまな第3次産業 ・教材：教科書 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 様々な産業とそれらの分布について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 様々な産業の特徴や立地、それらの違いや変化について、自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な自然環境に対応した産業の工夫、技術の発展やグローバル化による産業の発展・変容について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	18

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
現代世界の系統地理学的考察 交通・通信と観光、貿易 【知識・技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考・判断・表現】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 1節 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 日本の交通の特徴 3 情報通信の発達 2節 観光 1 余暇の拡大と観光産業 2 日本の観光とその変化 3 貿易と経済圏 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
現代世界の系統地理学的考察 人口、村落・都市 【知識・技能】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考・判断・表現】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 1節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動 2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題 3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市圏の拡大と都市の構造 4節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1
現代世界の系統地理学的考察 生活文化、民族・宗教 【知識・技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考・判断・表現】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 1節 衣食住 1 世界の衣服と食生活 2 世界の住居と衣食住の画一化 2節 民族・宗教と民族問題 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教 3 さまざまな民族問題 4 多文化の共生に向けた取り組み 3節 国家の領域と領土問題 1 現代世界と国家 2 領土問題と解決への取り組み 3 日本の領域と領土をめぐる問題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
地域の考察方法 中国 【知識及び技能】工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 中国 一項目ごとに整理して考察 1 中国の政治体制と多様な民族 2 中国の食生活と農業・水産業 3 中国の工業化と海外進出 4 経済発展に伴うさまざまな課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】工業化や経済発展が著しく、世界経済に大きな影響を与えている中国について、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】中国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
地域の考察方法 韓国 【知識・技能】日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 【思考・判断・表現】日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 韓国 一項目ごとに整理して考察 1 韓国の歴史と生活文化 2 産業の発展と生活の変化 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】日本と地理的な距離が近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】韓国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
二 学 期	地域の考察方法 ASEAN諸国 【知識・技能】 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 【思考・判断・表現】 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 ASEAN諸国-項目ごとに整理して考察 1 ASEAN諸国の歴史と文化・民族 2 ASEAN諸国の農業とその変化 3 ASEAN諸国の工業とその発展 4 ASEANの変化と課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】 古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ASEAN諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	地域の考察方法 インド 【知識・技能】 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解する。 【思考・判断・表現】 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 インド-経済成長に関連づけて考察 1 急速な経済成長を支えた産業の発展 2 増加する人口と農村の変化 3 インド社会の変化と経済格差の拡大 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】 近年急速に経済が成長しているインドについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 インドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	地域の考察方法 西アジアと中央アジア 【知識・技能】 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史の経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解する。 【思考・判断・表現】 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史の経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 西アジアと中央アジア-地域を比較して考察 1 イスラームと人々の生活文化 2 交易の歴史と乾燥地域の農業 3 豊富な資源を生かして進められる開発 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史の経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】 自然環境や生活文化で共通点が多くみられるが、異なる歴史の経緯や地域ごとの特殊性もある西アジアと中央アジアについて、二つの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	地域の考察方法 北アフリカとサハラ以南アフリカ 【知識・技能】 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解する。 【思考・判断・表現】 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 北アフリカとサハラ以南アフリカ-地域を比較して考察 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 他地域との結びつきと人々の生活の変化 3 一次産品への依存とそれがもたらす課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】 アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、大きく異なる点も多々ある北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	地域の考察方法 EU諸国 -項目ごとに整理して考察 【知識・技能】 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 【思考・判断・表現】 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 EU諸国 -項目ごとに整理して考察 1 EUの成り立ちと結びつき 2 ヨーロッパの多様な農業と政策 3 移り変わるEUの工業 4 EU拡大による影響と課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】 二度の世界大戦を機にEUを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 EU諸国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	地域の考察方法 ロシア -国家体制の変化に関連づけて考察 【知識・技能】かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解する。 【思考・判断・表現】かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 1 ロシアの成り立ちと体制変化 2 体制変化が産業にもたらした影響と課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】かつて社会主義国だったが、1990年代に国家体制が変化し、現在は新しい国づくりを進めているロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ロシアについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	地域考察方法 アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考察 【知識・技能】移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解する。 【思考・判断・表現】移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 アメリカ合衆国 -項目ごとに整理して考察 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国 3 進展する科学技術と産業 4 多民族社会と移民増加に伴う課題 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して理解している。 【思考・判断・表現】移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】アメリカ合衆国について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	地域考察方法 ラテンアメリカ-歴史的背景と関連づけて考察 【知識・技能】かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解する。 【思考・判断・表現】かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 ラテンアメリカ-歴史的背景と関連づけて考察 1 ヨーロッパの影響が強い社会 2 大土地所有制と農業の変化 3 工業化の進展と経済発展 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】ラテンアメリカについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	地域考察方法 オーストラリアとニュージーランド -国を比較して考察 【知識・技能】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解する。 【思考・判断・表現】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。	・指導事項 オーストラリアとニュージーランド -国を比較して考察 1 移民の歴史と多文化社会 2 自然の恵みを生かして発達した産業 3 強まるアジア・太平洋圏との結びつき ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 【思考・判断・表現】南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】オーストラリアとニュージーランドについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
三 学 期	現代世界におけるこれからの日本の国土像 【知識・技能】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 【思考・判断・表現】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な国土像	・指導事項 1節 将来の国土の在り方 1 日本の強みと地理的な課題 2節 持続可能な日本の国土像の探究 1 課題の把握 2 課題の追究 3 課題の解決 ・教材：教科書 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な国土像	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な国土像を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。</p>						
						合計 156